主 催 者 委 員 長 挨 拶

輝きＣＵＰ実行委員会
委 員 長　夕田　賢吾

輝きＣＵＰにご参加いただきありがとうございます。この大会は、今から８年前の平成１９年（２００７年）４月に第１回大会を中学生女子チームのみで開催しました。

当時はクラブチームの情報もなく、出場できる大会もとても少なかったので、ヤングの選手たちに少しでも試合を経験してもらいたいと、大阪府内のクラブチームと共に中学校を含めた４チームで試合を行いました。４チームだと少ないので、Ｂチームまで出せるチームは出していただき、なんとか７チームでの開催にこぎつけました。

第２回大会で他府県のチームに参加いただき、平成２１年（２００９年）の第４回大会の懇親会で、「純粋なクラブチームによる全国大会が無いから、この大会を本当に純粋なクラブチームの全国大会にみんなでしていこう！」と熱い議論を交わしたのを覚えています。第５回大会から名前も、「日本ヤングクラブバレーボール選手権大会」に変わりました。そして、チーム数も２０チームを超える大規模な大会に変わってきたのです。

第６回大会の時に、「小学生もいるけど、大会に連れて行っていいかな？」との声が出始め、「それなら小学生の大会も一緒に開催しましょう。」という流れで、小学生の部がスタートしました。懇親会の会場で、「うちのチームは中学男子もあるのだけれど、中学男子だけ地元に置いてきたから、一緒に連れてきてあげたかった」という声が・・・。これは、小中男女の４カテゴリでやるしかない！と第７回からすべてのカテゴリを開催することになりました。

新しくご参加いただくチームにとっては、どんな大会かわからずご迷惑をおかけしていることと思います。以上のような流れの中で成長してきた大会ですので、クラブチームのクラブチームによるクラブチームのための大会であるということを御理解いただければと思います。

同じ悩みや問題を抱え、日々の活動の中で様々な対応をしながら頑張っている、クラブチーム同士の大会。是非情報交換も積極的に行っていただき、末永くクラブチームが存続できる基盤を作ってもらいたいと思っています。

ただ、これから規模も大きくなれば、とても１チームで主管できる大会では無くなってくると思っています。前々回の大会より、各チームへご協力をお願いしてまいりましたが、今大会より各チームの協力により開催できるようにしたいと考えております。今後この大会が続いていくためにも、皆さまのご協力なしでは、とても厳しいと思っているので、是非今後ともよろしくお願いいたします。

おわりになりましたが、このように盛大に開催することができますのも、東近江市をはじめたくさんの方々のご協力と、大会に参加いただいた各チームの皆さまのお陰と心から感謝いたしますとともに、皆さまの今後ますますのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。